

CHANGE

今？この時期に？密閉の詰所へ

4月6日、大阪仕業検査車両所内にある SEK（新幹線エンジニアリング株式会社）の仕業検査担当者（関連会社社員）用詰所が、前大阪修繕車両所現場詰所1階の元ロッカー室に移転しました。

移転先の詰所は以前、大阪修繕車両所の JR 社員が現場ロッカー室として使用したり、工具置き場としていた場所で、明り取りの窓はあるものの開かず、換気扇もないという、まさしく密閉状態の詰所となっています。

SEK の管理者は、窓が開かない事や換気扇がない事を承知の上で、ただ空気清浄機を設置すると言っています。

窓が開かない！！換気扇も無い！！

「社員の健康は二の次」詰所の移転が最優先！！

4月7日、新型コロナウイルス感染が拡大するなか、政府から7都府県に「緊急事態宣言」が発令された事は承知のことだと思います。併せて「感染拡大を防止するために（密閉・密集・密接）の3つの「密」を避けるように」と言われているのは、マスクを通じたあらゆる場所で耳にしています。

このような中において、JR 東海会社や SEK が行った密閉状態な場所への詰所移転は、新型コロナウイルス感染の危険性を高める行為に他なりません。

ただ空気清浄機を設置するだけでは問題の解決にはなりません。

私たちは、JR 東海や関連会社で働く者の健康を守るため、

窓の設置など密閉状態の詰所の改善を早急に求めます！！